

平成24年度事業報告書

1. 平成24年度の事業概要

平成24年度は、「こども教育宝仙大学」並びに「中学高等学校共学部理数インター」が完成年度を迎え、学生・生徒も全学年が揃い、総合学園としての全容が整いました。併せて、学園全体の施設・建物も計画通りに整備・更新し、また小学校の60周年の記念行事も終わりました。

このように、平成24年度は本学園にとっては大きな節目の年であり、各部門とも教育活動の充実化に最大のエネルギーを注ぎ取組みました。

具体的な学校別の取組みと推進状況は以下の通りです。

(1) 教育活動について

こども教育宝仙大学は完成年度を迎え、何よりも第一期生の就職支援体制強化に取組みました。就職資料室・指導室の充実化、並びに就職園への求人、就職ガイダンス等の強化活動を積極的に進めました。これにより就職率は98%に達し、しかも卒業生の多くが幼児教育・保育の専門職に就くことができました。

また、学生募集対策については前年度の入試結果を踏まえてさらに検討を加え、指定校の再整備と入試日程の見直し、広報戦略の再構築などに重点的に取組みました。その結果、定員を上回る108名の入学者が確保できました。

中学高等学校共学部・理数インターについても大学同様に完成年度を迎え、第一期生の進学強化に全力を挙げて取組み、特に受験指導の充実、進路指導体制の確立等に最大の力を注ぎました。

これまでの地道な活動の積み重ねも加わり、大学入試では早稲田・慶応で19名、それに上智・理科大を含めると30名、国公立・GMARCHなどにも多くの合格者を出すことができ、立派な成果を出しました。併せて、生徒募集・入試への対策についても入試広報活動の充実強化を図り、中学校で127名、高等学校では51名の生徒を外部から迎え入れることができました。

なお、女子部は平成25年度には高等学校のみとなります。コンパクトで特長のある高等学校へと、生まれ変わるよう検討と準備を進めました。

小学校はこれまでの進学実績を踏まえながら教育内容のさらなる充実化を図り、この春の進学入試も大変優れた結果を示すことができました。また、募集活動の再整備とスクールガイド（学校案内）のリニューアルも行い、予定通りの児童の確保ができました。

なお、併せて創立60周年を機に、さらに次の飛躍に向け「新しい小学校像」の枠組み作りと特徴づけに着手しています。

幼稚園は教育活動の工夫・環境の整備等により、入園者もこれまでの停滞状況から増加へと転じました。今後は、幼保一元化を含む少子化対応行政の動向を見つつ、教育内容の充実とレベルアップに努め、今後の園児確保に繋がる施策の整備に取り組んでいます。

(2) 教育施設・設備等の整備更新と校内美化について

具体的には、夏季休業期間中に中学高等学校校舎の一部改修と外壁の塗装整備、小学校では、講堂等の施設改修と直接給水工事、幼稚園を含む校舎外壁の美化整備を実施しました。

今後は“宝仙ブランド”の確立を目指し、各学校がもう一段質の高い教育内容の充実化に向けて積極的に取組み、併せて各学校が連携を深化させ一体となって取組むことにより「学園・学校の価値」を一層高めることができるよう活動を展開していきます。

平成24年度の事業報告について、以下の通り報告します。

2. 学校法人の概要

(1) 建学の精神

本学園は、「仏教の精神を基調とした人間教育によって、品格と知性を兼ね備えた人を造る」という建学の精神に基づき、社会において有為な人材を育成することがその使命です。学力・知識の涵養はもとより、豊かな人間性と社会性を育むよう学園並びに各学校の総力を挙げて“宝仙らしい”特色づくりとその発揮に向け、これからも具体的な活動として取組みます。

(2) 学校法人の沿革

① 法人設立年月日 昭和23年3月31日

② 学校設置等

昭和 2年 3月	感応幼稚園設置認可→昭和29年10月宝仙学園幼稚園と園名を変更
昭和 3年 1月	中野高等女学校設立認可
昭和10年 3月	仏教保育協会保姆養成所設置認可
昭和14年 6月	仏教保育協会中野保姆養成所に校名を変更
昭和19年 1月	中野保姆養成所に校名を変更
昭和21年11月	中野高等保育学校に校名を変更
昭和22年 4月	新制宝仙中学校設置認可
昭和23年 3月	新制宝仙高等学校設置認可
昭和23年 3月	財団法人宝仙学園設置認可
昭和26年 3月	学校法人宝仙学園に組織変更
昭和26年 3月	中野高等保育学校を廃止し、宝仙学園短期大学保育学科を設立
昭和27年11月	宝仙学園小学校設置認可
昭和29年10月	宝仙中学校を宝仙学園中学校と校名を変更
昭和29年10月	宝仙高等学校を宝仙学園高等学校と校名を変更
昭和39年 1月	宝仙学園短期大学生活芸術科設置認可
平成 9年 4月	宝仙学園短期大学生活芸術学科を造形芸術学科に名称変更認可
平成10年 4月	宝仙学園短期大学専攻科造形芸術専攻設置認可（学位授与機構認定）
平成19年 4月	宝仙学園中学校共学部「理数インター」を開設
平成20年10月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科設置認可
平成21年 4月	こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科開学

平成21年 4月 宝仙学園短期大学保育学科学生募集停止

平成22年 4月 宝仙学園短期大学廃止

(3) 設置する学校・学部・学科等 (平成24年5月1日現在)

設置する学校	開校年月	学部・学科等	備考
こども教育宝仙大学	平成21年4月	こども教育学部幼児教育学科	
宝仙学園高等学校	昭和3年4月	全日制(普通科)	
宝仙学園中学校	昭和22年4月		
宝仙学園小学校	昭和28年4月		
宝仙学園幼稚園	昭和2年4月		

(4) 学校・学部・学科等の学生数の状況 (平成24年5月1日現在)

学校名	入学定員数	収容定員数	現員数	備考 H25.5.1
こども教育宝仙大学	100	400	365	389
宝仙学園高等学校	210	630	567	575
宝仙学園中学校	170	510	377	397
宝仙学園小学校	70	420	456	457
宝仙学園幼稚園	—	315	226	251

(5) 役員の概要 (平成24年5月1日現在)

区分	定員数	現員数	常勤・非常勤
理事	7~10人	8人	常勤-6人 非常勤-2人
監事	2人	2人	非常勤-2人

(6) 評議員の概要 (平成24年5月1日現在)

区分	定員数	現員数	常勤・非常勤
評議員	19~28人	19人	常勤-10人 非常勤-9人

(7) 教職員の概要 (平成24年5月1日現在)

区分	大学	高等学校	中学校	小学校	幼稚園	本部	合計	
教員	本務	21	41	25	23	14	0	124
	兼務	21	31	14	0	0	0	66
職員	本務	14	7	4	5	1	1	32
	兼務	4	2	1	3	4	0	14

3. 事業運営の概要

理事会、評議員会では、決議事項、報告事項等について討議及び承認が行われました。
会議内容は以下の通りです。

(1) 理事会開催の状況・・・平成24年度開催回数8回

<主な議案>

(学園)

- ・平成24年度補正予算について
- ・平成23年度収支決算について

- ・平成23年度事業報告について
- ・平成25年度中期経営計画、平成25年度事業計画・収支予算計画について
- ・役員、評議員の改選について
- ・新たな勤務形態・勤務時間管理の導入と給与体系・制度の改正について

(2) 評議員会開催の状況・・・平成24年度開催回数5回

<主な議案>

- ・平成24年度補正予算について
- ・平成23年度収支決算について
- ・平成23年度事業報告について
- ・平成25年度中期経営計画、平成25年度事業計画・収支予算計画について
- ・役員、評議員の改選について

(3) 監事業務の状況

- ・理事会、評議員会への出席状況（理事会6回、評議員会5回）
- ・監事監査の実施（会計監査2回、業務監査3回）
- ・文部科学省主催「監事研修会」への参加（監事2名他本部事務局長）

(4) 会計監査の状況・・・平成24年度実施回数16回

- ・監査法人による監査の実施

(5) 平成24年度の主な教育活動

<大 学>

- ・宝仙学園幼稚園での体験学習(1・2年次生)の実施（H24.5～7月）
- ・大学設置に係る「設置計画履行状況報告書」の提出（H24.5/15）
- ・教育実習Ⅱ(4年次生)実施（H24.6月）
- ・園長・施設長懇談会の実施（H24.7/4）
- ・寄付行為(変更)認可後の「財政状況及び施設等整備状況調査」の提出（H24.10/31）
- ・保育実習(保育所・施設)実施（H24.8～9月）
- ・課外プログラム3年次生：国外／韓国（H24.8/30～9/3）
- ・課外プログラム2年次生：国内／富山県利賀村（H24.9/6～9/10）
- ・本学園幼稚園での教育実習Ⅰ(3年次生)実施（H24.9～12月）
- ・第4回図書館講演会開催(中野区教育委員会後援) 講師／長野 ヒデ子氏
- ・本学園幼稚園での体験学習(1・2年次)の実施（H24.11～12月）
- ・「こども学・区民公開講座」開催(中野区後援) 講師／本学教員（H24.12/8）
- ・大学入試センター試験 東京女子大学と共同実施（H25.1/19・20）
- ・保育実習(保育所・施設) 実施（H25.2/1～3/31）
- ・第1回学位記授与式挙行（H25.3/19）
- ・中野区との地域連携／各研修会等に講師として本学教員派遣（年間）

<中学・高等学校>

(共学部)

- ・中1 ウェルカムキャンプ／富士山麓 (H24.4/23～24)
- ・体育祭／東京体育館 (H24.5/11)
- ・高2 アメリカ研修旅行／スタンフォード大学・ヨセミテ (H24.6/4～11)
- ・中3 アジア研修旅行／広島～韓国 (H24.6/5～9)
- ・高1 仏教研修／長谷寺 (H24.6/6～8)
- ・ネイチャープログラム／中1：神代植物公園 (H24.6/19)
／中2：高尾山 (H24.6/21)
- ・サマーキャンプ／中1・2 (H24.7/28～30)
- ・サマーセミナー／高1・2 (H24.7/28～31)
- ・中1 ラグビー教室 (H24.11/5) ラグビー観戦／国立競技場 (H24.11/23)
- ・高3 センター試験講習 (H24.12/11～H25.1/16 に随時)
- ・中1～高2 英語プレゼンコンテスト (H25.1/31)
- ・中1～高1 合唱際 (H25.3/9) 研究発表会 (H25.3/20)
- ・高2 春季勉強合宿 (H25.3/24～27)

(女子部)

- ・新入生歓迎会 (H24.4/10)
- ・高1～高3 遠足／都内近郊 (H24.5/2)
- ・中3 修学旅行／長谷寺～奈良～京都 (H24.5/9～12)
- ・高3 保育コース宝仙幼稚園実習 (H24.5/30)
- ・体育祭 (H24.6/2)
- ・高2 保育コース幼稚園実習 (H24.6/27)
- ・夏期講習 (前) (H24.7/23～27) (後) (H24.8/20～24)
- ・高1～高3 進学合宿 (H24.8/7～10)
- ・高2 北海道修学旅行 (H24.9/11～15)
- ・芸術鑑賞会／日生劇場 (H24.11/21)
- ・冬期講習 (H24.12/19～22)
- ・中3～高2 合唱コンクール (H25.1/29)
- ・特進コース春期講習 (H25.3/26～30)

<小学校>

- ・自作テキスト等を活用した授業の展開 (年間)
　　<宝仙の国語(漢字ドリル) 宝仙の算数、算数ドリル、宝仙の理科等>
- ・国公立・私立中学校受験に向けた習熟度別授業、補習の実施 (年間)
- ・5, 6年生の英語教育活動／講師：中学高等学校外国人講師 (年間)
- ・3, 4年生の英語教育活動／外部講師 (年間)
- ・金環日食鑑賞会の実施 (H24.5/21)
- ・「選ばれる私学・誌上座談会」に参画 (週間朝日 (H24.6/8号掲載))
- ・「第3回青梅街道七夕かざり」への参画／全学年参加 (H24.7/7)
　　<宝仙寺前通商店会・鍋横大通商店会共催>
- ・金管バンド地域演奏会への参加／中野坂上PAO商店会イベント (H24.10/27)
- ・創立60周年記念児童集会の実施 (H24.11/28)
- ・創立60周年記念式典・祝賀会の実施 (H24.12/2)

- ・研究授業・協議会の実施／本学教育職員研修（年3回）

<幼稚園>

- ・大学との連携教育活動／リトミック教室（年10回）、造形あそび（年3回）
- ・小学校との連携教育活動／理科実験教室（年3回）
- ・園内研修の開催／「心の育ちと言葉の育ち」（年6回）
- ・園外での体験保育の実施（各学年とも年5回）
- ・避難訓練、防犯訓練実施（年間複数回）
- ・公開保育の開催（H24/6月、9月）
- ・小学校との連絡協議会の実施（年3回）
- ・中野区幼稚園教育研究会参加（年6回）
- ・母の会主催講演会の実施／講師：長野ヒデ子氏（H25/1/31）
- ・「楽しい子ども会」の実施／園児表現活動保護者参観（H25/2/19～22）

<全学園>

- ・合同学園祭「宝仙祭」の開催：大学、高等学校、中学校、小学校、幼稚園（H24.10/27～28）
 <統一テーマは“輝く願い”～光をつかめ～>

（6）平成24年度の主な事業活動

<学園の活動>

1 学園経営の改革・改善及び学園運営に関する事項

- ・こども教育宝仙大学こども教育学部幼児教育学科履修規程の一部改正（H24.4/1 施行）
- ・宝仙学園給与規定手当支給基準表の一部改正（H24.4/1 施行）
- ・小学校の学納金変更に伴う「宝仙学園小学校学則の一部改正(案)」の東京都に申請する理事会承認（H24.7/17）
- ・こども教育宝仙大学学則の一部改正「児童福祉法施行規則改正による変更（H25.4/1 施行）」理事会承認（H24.11/27）
- ・新たな人事体系・制度の導入についての理事会承認（H25.2/26）
- ・宝仙学園給与規定の一部改正（H25.4/1 施行）の理事会承認（H25.2/26）

2 教育環境整備の進捗状況

- ・中学高等学校は2号・4号校舎の一部改修
 （トイレの大幅改装、通路の新設、内装・外壁の塗装整備等）
- ・小学校は講堂及び各施設改修と水道直接給水工事、校舎外壁の美化整備
- ・震災用備蓄品の確保と保管倉庫の拡充・設置

3 教育活動の充実化に向けた「政策会議」の実施

（大学）

- ・就職支援、募集対策と入試対応、運営管理体制の強化に向けた検討（年2回）

（中学・高等学校）

- ・理数インターの進学強化策、生徒募集・入試対策等の各施策の検討（随時開催）
- ・女子部の「新たな高等学校像づくり改革」の検討

（小学校）

- ・創立60周年記念行事、学校案内のリニューアル化等の検討（随時開催）

(幼稚園)

- ・「総合子ども園構想」の動向、今後の幼稚園のあり方について検討（年3回）

④ 社会貢献活動

- ・クールビズの実施／夏の節電対策含む省エネの徹底（H24.5/21～10/13）

5 その他

- ・文部科学省「設置計画履行状況現地調査」実施（H 24.9/6）
- ・文部科学省「寄付行為(変更)認可後の財政状況及び施設等整備状況現地調査」実施（H 24.12/3）
- ・東京都財政援助団体の監査（H24.10.24）

4. 財務の概要

平成24年度の収支決算の状況は次の通りです。

資金収支計算書

(単位 円)

収入の部			
科 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
学生生徒等納付金収入	1,058,163,630	1,245,168,530	1,432,398,990
手数料収入	26,342,461	26,954,682	27,050,010
寄付金収入	33,880,000	38,470,000	40,390,000
補助金収入	681,505,492	1,041,578,692	653,566,214
資産運用収入	2,378,730	797,018	3,288,899
資産売却収入	0	0	100,000,000
事業収入	19,985,722	21,867,805	20,322,027
雑収入	61,701,348	43,776,188	25,848,651
借入金等収入	800,000	200,000	1,000,000
前受金収入	205,829,000	241,674,700	255,184,000
その他の収入	887,329,367	1,743,920,526	1,520,322,767
資金収入調整勘定	△ 319,032,485	△ 637,903,667	△ 251,008,604
前年度繰越支払資金	805,242,868	927,684,627	495,520,295
収入の部 合 計	3,464,126,133	4,694,189,101	4,323,883,249

支出の部			
科 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
人件費支出	1,281,274,730	1,277,677,723	1,347,219,385
教育研究経費支出	297,852,613	371,466,278	400,182,785
管理経費支出	140,248,181	146,876,214	156,218,937
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	1,400,000	1,000,000	600,000
施設関係支出	84,358,296	789,908,453	130,780,979
設備関係支出	20,238,388	47,548,708	50,314,196
資産運用支出	50,004,162	0	100,045,000
その他の支出	743,192,857	1,736,887,715	1,262,403,977
資金支出調整勘定	△ 82,127,721	△ 172,696,285	△ 39,097,482
次年度繰越支払資金	927,684,627	495,520,295	915,215,472
支出の部 合 計	3,464,126,133	4,694,189,101	4,323,883,249

消費収支計算書

(単位 円)

消費収入の部			
科 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
学生生徒等納付金	1,058,163,630	1,245,168,530	1,432,398,990
手数料	26,342,461	26,954,682	27,050,010
寄付金	38,084,933	41,535,826	45,395,415
補助金	681,505,492	1,041,578,692	653,566,214
資産運用収入	2,378,730	797,018	3,288,899
資産売却差額	0	0	0
事業収入	20,385,496	20,016,572	21,303,534
雑収入	94,382,721	71,676,430	63,020,420
帰属 収入 合計	1,921,243,463	2,447,727,750	2,246,023,482
基本金 組入額合計	△ 105,166,350	△ 478,514,784	△ 106,212,381
消費収入の部合計	1,816,077,113	1,969,212,966	2,139,811,101

消費支出の部			
科 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
人件費	1,280,961,105	1,315,225,153	1,347,501,385
教育研究経費	511,955,498	590,083,341	635,820,356
管理経費	151,061,081	158,338,886	168,517,929
借入金等利息	0	0	0
資産 処分 差額	60,924,636	144,740,050	79,929,195
徴収不能引当金繰入額	667,000	0	2,575,500
徴収不能額	0	0	0
消費支出の部合計	2,005,569,320	2,208,387,430	2,234,344,365
当年度消費収入超過額	△ 189,492,207	△ 239,174,464	△ 94,533,264
前年度繰越消費収入超過額	△ 2,443,136,399	△ 2,632,628,606	△ 2,871,803,070
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越消費収入超過額	△ 2,632,628,606	△ 2,871,803,070	△ 2,966,336,334

貸借対照表

(単位 円)

科 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	科 目	平成22年度	平成23年度	平成24年度
資産の部				負債の部			
固定資産	7,091,604,465	7,557,192,237	7,415,852,555	固定負債	121,935,693	131,499,881	94,810,112
有形固定資産	6,648,221,769	7,114,310,641	6,972,556,059				
その他の固定資産	443,382,696	442,881,596	443,296,496				
流動資産	1,029,116,570	932,785,793	931,258,418	流動負債	352,956,749	473,309,236	355,452,831
				負債の部合計	474,892,442	604,809,117	450,262,943
				基本金の部合計	10,278,457,199	10,756,971,983	10,863,184,364
				消費収支差額の部合計	△ 2,632,628,606	△ 2,871,803,070	△ 2,966,336,334
資産の部合計	8,120,721,035	8,489,978,030	8,347,110,973	負債の部、基本金の部、及び消費収支差額の部	8,120,721,035	8,489,978,030	8,347,110,973